

Zion株式会社

ザイオン

Zion Co., Ltd.



〒101-0047

東京都千代田区内神田2丁目3番14号 平沢ビル3階

TEL 03-5577-2128 FAX 03-5577-2129

JR 山手線/京浜東北線/中央線 神田駅 徒歩3分 (西口)

JR 総武線 新日本橋駅 徒歩5分 (出口2)

東京メトロ 銀座線 神田駅 徒歩5分

東京メトロ 丸の内線 大手町駅 徒歩8分

Corporate Profile

会社概要

Zion株式会社

ザイオン

Zion Co., Ltd.

会社概要

商号 Zion株式会社

設立 2016年9月15日

所在地 〒101-0047
東京都千代田区内神田2丁目3番14号 平沢ビル3階

役員 代表取締役 長谷川 幹夫
取締役 吉田 政幸
取締役 牧瀬 敦

資本金 1,500万円

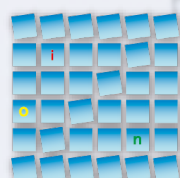
URL <https://www.zions.co.jp/>

取引銀行 三菱UFJ銀行 新丸の内支店
みずほ銀行 神田駅前支店
ゆうちょ銀行 〇一八支店
りそな銀行 東京中央支店
楽天銀行 第一営業支店

許認可 ISO9001:2015 (認証番号13675)
労働者派遣事業 (派13-313772)
古物商 (東京公安委員会 第301021806699号)

社名は「ジオン」ではなく「ザイオン」と読みます。
「Zion」は映画「マトリックス」に登場する地名です。Zionには「聖地」という意味があり、知徳の優れた会社になりたいという思いを込めています。

■ロゴの意味合い■
ロゴは、1つ1つのキューブがマトリックス状となっており、いろいろなパートナーとコラボレーションすることをイメージしています。



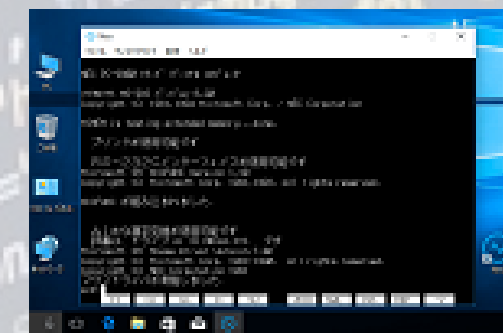
事業内容

生産設備PCリプレイス (PC/FC-9801エミュレータ)

生産ラインなどで現役稼働するNEC製PC/FC-9801環境をWindows10・11パソコンへリプレイスし、安定した事業継続をサポートいたします。
既存の生産機器や検査装置はハードウェア・ソフトウェア含めて、そのまま継続利用できるため短納期、低コストかつ専任者不在でリプレイス可能です。

【Neo (ネオ)】

PC/FC-9801※のハードウェア (PC本体、C-BUSボードなど) およびOS、ソフトウェアを丸ごとWindows10・11上に置き換えるシステムリプレイスサービスです。



Windows10上でPC/FC-9801エミュレータ「Neo」を稼働した画面イメージ

【NeoLite (ネオライト)】

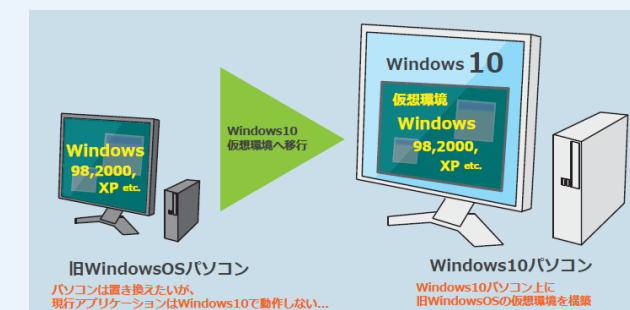
RS-232Cやプリンターなどの標準デバイスで構成されるPC/FC-9801を使用する場合は、Neoの廉価版NeoLiteをご利用いただけます。パッケージ製品のためお客様自身でインストールすることが可能です。

※Neoシリーズは、日本電気株式会社様とPC/FC-9801シリーズのROMデータ利用許諾契約を締結しております。

生産設備PCリプレイス (旧Windows環境エミュレータ)

【Switch (スイッチ)】

WindowsXPやWindows2000などサポートの切れたWindows環境をWindows10・11パソコンにリプレイスするサービスです。
古いOSのドライバやソフトウェアを変更することなくそのままご利用できるので、生産設備などの資産を継続して活用することが可能です。



【Switch Advance (スイッチアドバンス)】

PCIカードやPCIeカードを使用する古いWindows環境の場合、Switch Advanceで対応いたします。

システム開発・構築・運用・保守

生産設備に付随する、システムの開発・設計・運用・保守において現状把握、課題・問題点の分析、対策のご提案、対策実施まで責任を持って対応いたします。
ハードウェア・ソフトウェア設計技術を活かして、PC/FC-9801関連の対応から最新Windows、ネットワークに至るまで幅広く対応いたします。

コンサルティング

生産現場では種々な問題解決のため多くの技術力が求められます。弊社の今までの経験・ノウハウ・技術力を活かしたコンサルティングサービスを提供いたします。

人材派遣サービス

ITエンジニアを中心にキャリア形成支援や教育訓練の実施等、コンプライアンスを遵守し、お客様と派遣スタッフの双方が安心できるサービスを提供いたします。

【経営方針】

- 製造業における、生産現場の安定稼働と事業継続による
- リスク低減を実現することで社会に貢献し「Made in Japan」ブランドを高め、お客様の発展に寄与する。

【品質方針】

- 自社の扱う、製品及びサービスにおいて品質向上をはかり、顧客満足向上に努める。
- 人材育成と改善活動を継続的に取組むことで自社の運営基盤の強化を図る。
- 品質マネジメントシステムを構築、運用し、有効性と適切性を持続させ、継続的改善を行う。